

「省エネ市民会議」					
会議年月日	27年9月4日	時間	13:30 ~ 16:00	場所	流山市生涯学習センター(3F)
出席者	難波、三木、大前、藤見、紅谷、筒井、小山、青木、笠原、川島、新美、青木(一)、服部、高橋、山田、田中、新田、小熊、板倉、遠藤、平手(記)、朝川、藤田 (順不同・敬称略)				
議 題					
1. 「わが国の電力事情について」 東京電力東葛支社 企画総括グループマネージャー 朝川 陽一郎 氏					
・第4次エネルギー基本計画(2014年4月11日閣議決定のベスト・ミックスコンセプト)					
安全性(A)+安定供給(E)+経済性(E)+環境保全(E)+国際性+経済成長のバランスのとれたもの					
・日本のエネルギー自給率は6%(食料自給率40%)で世界33位					
・原子力発電所の低稼働による燃料費増・貿易収支の悪化(2013年度の貿易収支は▲11.5兆円まで拡大)					
・東日本大震災後の電気料金は35%増加(東京電力の場合)					
・再生可能エネルギーのFIT導入拡大で標準的な家庭で1か月660~820円の負担。(2013年度認定分試算)					
・電気事業からのCO2排出量は2010年度と2012年度の比較で販売電力6%減に対しCO2排出原単位(係数)原稼働停止の影響で0.413⇒0.571に上昇、CO2排出は2年間で38%増加した。(電気事業連合会調べ)					
2. 電力システム改革(電力自由化)					
・第1弾改正:広域系統運用機関2015年4月設立(地域別電力会社、50/60サイクル間の電力融通)					
・第2弾改正:小売(低圧)全面自由化(参入自由化)⇒2016年4月~					
・第3弾改正:送配電部門の法的分離(持ち株会社)による競争的な市場環境を実現					
3. 小売全面自由化(家庭の電力自由化)の具体的内容(詳しくは10月10日の第3回市民環境「特別講座」で)					
① 小売分野への参入の全面自由化⇒地域独占の撤廃、供給義務から最終保障サービスへの転換					
② 小売料金の自由化⇒料金規制の段階的撤廃、経過措置期間における料金規制					
③ 自由化に対応した需要家保護策等の整備⇒最終保障サービスの措置、ユニバーサルサービス					
4. 従来型計器(機械式)からスマートメーターへの転換(全世帯に順次切り替え中)					
2016年4月から、東京電力以外の新電力からの購入契約者については優先的に東京電力が無償でスマートメーターに取り替えてもらえる。経過措置期間内には全世帯の従来型計器(検針計)はすべてスマートメーターに切り替わる。(小売自由化により毎月の検針員訪問による検針はなくなる)					
5. 現在の東京電力(株)は2016年4月より下記3つの株式会社の持ち株会社(東京電力ホールディングス)となる					
①東京電力フュエル&パワー株式会社⇒燃料・火力発電事業会社					
②東京電力パワーグリッド株式会社⇒一般送配電事業会社					
③東京電力エナジーパートナー株式会社(小売電気事業会社)					
6. でんき家計簿					
インターネットに弱い方へメールアドレスのみでお得な電気料金メニューが選べる「でんき家計簿」登録手続無償代行サービス実施中					
10月10日の第3回市民環境講座の会場(生涯学習センター)でも無償代行サービス受付します。					
7. 質疑応答30分(省略) (以上)					

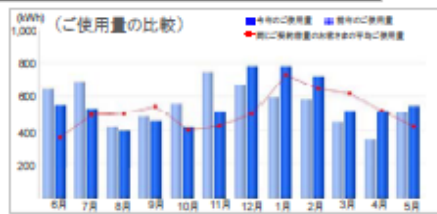


## 5. インターネットでわが家の電気料金を簡単チェック “でんき家計簿”

- 毎月の電気使用量の確認、料金メニューの提案、省エネアドバイスの提供などを行う、**無料会員制インターネットサービス「でんき家計簿」**を展開  
(2015年8月末の累計会員数は約317万軒)
- 今後、海外事業者との業務提携等により、会員向けのサービスをさらに拡充予定

### 毎月の電気の使用量と料金のチェック

- ・ 過去2年分の電気使用量や料金などが見える化



### ライフスタイルにあった電気の使い方の提案

- ・ 電気の使い方やライフスタイルに合った料金メニューや省エネ手法などを提案



### 料金メニュー選択のための試算ツール

- ・ お客さまの電気使用量実績をもとに各料金メニューを試算



### 使用量をみんなと比べる

- ・ よりお客さまご自身のプロフィールに似ているご家庭と比べられる!

